

すてきな創作看板

一番街の通りには、個性あふれるすてきな看板がたくさんあります。これらは、昭和63年から商店街が自主的に取り組んできた「町づくり規範」に基づき、通りにふさわしい看板デザインとなるように創作をした成果です。また、今後の都市景観を形成していく上で、先駆・象徴的な作品であると認められた看板を、「かわごえ都市景観表彰」として表彰しています。

看板は、景観への影響が大きく、通りの印象を決める重要な要素でもあります。そのため、一番街の通り以外でも、都市景観形成地域として定められた地区で看板の設置や変更を行う場合は、都市景観条例に基づき届出が必要になります。



景観に合うように作られた看板は目立たないかもしれませんが、ひとたび目に留まると、見る人を引き付け、その地で育まれてきた人々の営み、受け継がれる歴史や文化への敬意が伝わってきます。あなたもお気に入り看板を探しに出かけてみませんか。



川越市茶業協会



「色は静岡、香りは宇治よ、味は狭山とどめさす」と歌われている狭山茶。全国的に有名な茶の1つである狭山茶の発祥の地は、実は川越ということをご存じですか。

川越市茶業協会会長の鈴木邦夫さん(上戸)は、川越で代々100年以上の間、茶を作り続けています。鈴木さんの茶は、有機肥料を主体に育てられた茶の木から製造するため、甘みと深みが増して良い茶ができるそうです。茶をおいしく入れるポイントは、急須に茶葉を約5gと80℃程度の湯をゆっくり入れ、色を見ながら湯呑みに注ぐことです。「良い茶は濃いめにするので、茶が持つ本来の味が出てきます。おいしい川越の茶を、ぜひ飲んでみてください」と鈴木さん。丹精込めて作られた川越の茶は、茶農家で直売しているほか、あぐれっしゅ川越などの農産物直売所で販売しています。



お茶は生き物。開封後は、密閉して冷蔵庫に保存すると良いですよ

今が旬！6月の川越野菜 市内の直売所などで購入できます
じゃがいも、トウモロコシ、いんげん、枝豆、ごぼう、キャベツ、トマト、きゅうり、ネギ、ナス、新タマネギ、小松菜、ブロッコリー、かぶ、にんじん、チンゲン菜



勝った喜び、負けた悔しさや運動場に響いていました。子どもたちの「きずな」もきつと深まったのではないのでしょうか。



晴 天に恵まれ開催された芳野小学校の運動会。「みんなの心は一つ！きずなを深め自分の力を出しきろう」をスローガンに盛大に行われました。

編集後記
どんぐり